

施工説明書

目次

ランプウォーマー
ILA-18(G)(K)(S)
ILF-18(F)(K)(R)
ILM-18(C)
ILC-25(G)(K)(S)

安全上のご注意	2
取付場所の確認	4
電源コードとランプの 取付・交換方法	4
電源コードの長さを短くする場合	6
施工後の確認	8

このたびは、ランプウォーマーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ランプウォーマーの施工には電気工事店に依頼してください。

工事店様は、この説明書は保守のため施工後お客様に必ずお渡しください。

日本国内専用 (Use only in Japan)

安全上のご注意

■この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、製品を正しくお使いください。
人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを記載しています。

■記載内容を守らずに誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分して記載しています。

 警告	死亡または重傷を負うおそれがある内容。
 注意	傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容。

■お守りいただく内容を次の絵表示で説明しています。

	△記号は、警告、注意を促す内容です。
	⊙記号は、してはいけない内容です。
	●記号は、実行しなければならない内容です。

 警告	死亡または重傷を負うおそれがある内容。
	設置工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。 ご自分で設置工事をされ不備があると、感電、火災、落下の原因となります。
	設置工事は施工説明書（本書）に従い確実にを行う。 設置工事に不備があると、感電、火災、落下の原因となります。
	電源は必ず AC100V で 6A 以上から取る。 容量不足や設置工事不備があると感電、火災の原因となります。
	設置工事は製品の重量に十分耐えるところに確実にを行う。 耐重量不足や取り付けが不完全な場合、製品の落下により感電、ケガの原因となります。
	角型引掛シーリングキャップの取り付け面に、ほこりが付着していないか確認し、確実に取り付ける。 接続が不完全な場合は感電や火災の原因となります。
	器具とワークトップ（照射されるテーブル面）の被照射物は 300mm 以上離す。 火災の原因となります。
	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理を行わない。 感電、火災、落下、ケガの原因となります。

	電源コードの長さ調節は角型引掛シーリングキャップ側で行う (「電源コードの長さを短くする場合①～⑨」を参照)。 ※ILC-25のみとなります ILF/ILA-18は調整できません それ以外の方法で変更すると感電、火災、落下、ケガの原因となります。
	改造、および構成部品(ソケット、コードなど)の交換は絶対に行わない。 感電、火災、落下、ケガの原因となります。
	電源コードを傷つけない。 加工したり、引っ張ったり、束ねたり、挟み込んだりしますと電源コードが破損し感電や火災の原因になります。また電源コードを、熱源に触れさせないでください。
	布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。 火災の原因となります。
	屋外で使用しない。 雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因となります。
	湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に設置しない。 絶縁が低下し、漏電、感電の原因となります。
	ストーブやガスレンジなどの温度が高温になる物の近くや、 湿気の発生する場所には設置しない。 感電、火災の原因となります。
	製品を梱包しているポリ袋はすぐに廃棄する。 子供が誤って頭にかぶったり、巻き付いたりして窒息の原因となります。

 注意	傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容。
	製品を落としたり、強い衝撃を加えない。 製品が破損した場合火災や感電の原因となります。
	直射日光の当たる場所、振動のある場所、雨の吹込みを受ける場所、 腐食性ガスの発生する場所には設置しない。 火災、感電、落下ケガの原因となります。
	製品にむやみに触らない。 通電中は製品が熱くなっています。ヤケドの恐れがあります。

工事される方へのお願い

- ①この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定された工事を行ってください。
- ②工事完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- ③この説明書は、必ずお客様にお渡しください。

取付場所の確認

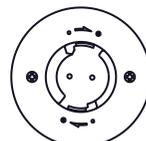
- 取付場所は、風通しがよく熱の影響を受けない所で、直射日光を受ける所やガスコンロ、レンジ等の熱源の近くは避けて下さい。また、湿気の多い所や、水のかかり易い場所には置かないでください。
- 取付場所は、重さに十分耐えるところに確実に行ってください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因になります。
- 取り付け可能な「シーリング」と「ローゼット」
 - ・天井に「引掛埋込ローゼット」か「角型・丸型引掛シーリング」などが付いている場合は、電気工事無しで取り付けすることができます。



「丸型引掛シーリング」



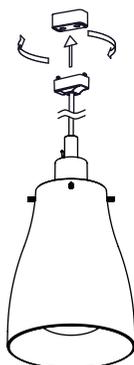
「角型引掛シーリング」



「引掛埋込ローゼット」

注意	禁止	次のような天井には取り付けない。
<p>簡単にたわむ天井</p>		<p>傾斜天井</p>

電源コードとランプの取付・交換方法

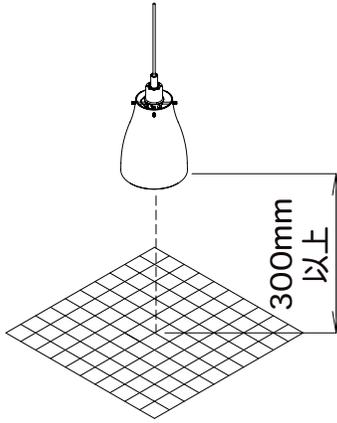


■電源コードの取付・交換方法

製品側の「角型引掛シーリングキャップ」をしっかり持ち、天井に付いている「引掛埋込ローゼット」または「角型・丸型引掛シーリング」へ差し込み、製品側の「角型引掛シーリングキャップ」を回し確実に取り付けてください。

天井に上記の「引掛埋込ローゼット」または「角型・丸型引掛シーリング」がない場合は、電気工事を伴います。その場合は、電気工事店（有資格者）に依頼してください。一般の方の取り付けは、法律で禁止されています。

警告	電源を切る	取付けの際は電源スイッチを切る。 ブレーカーも確実に切る。 感電の恐れがあります。
注意	高温注意	使用中、使用後しばらくはランプなど 高温部に手を触れない。 やけどの原因となります。



■製品とワークトップの距離

製品を取り付ける際には、ワークトップ(照射されるテーブル面)より300mm以上離して設置してください。300mmより低く設置しますとワークトップが可燃性の場合、変形、火災の原因となります。

警告	禁止	ランプの照射される範囲や器具の周り、上部にはエアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすい物は置かない。 火災の原因になります。
注意	高温注意	使用中、使用後しばらくはランプなど高温部に手を触れない。 やけどの原因となります。

■ランプの取付・交換方法

- ①「スイッチ」と「ブレーカー」はあらかじめ切ってください。
- ②交換の際は、製品が十分に冷めてから、ランプの交換を行ってください。
- ③ランプを交換する際は、「本体」を持ちながら反時計回りに回して外してください。
- ④新しいランプは、時計回りに回して取り付けます。
- ⑤ILC-25の新品状態では、ランプは本体にセットされております。輸送時にランプが緩んでしまう場合がございます。しっかりランプが締まっているか設置後必ずご確認ください。



赤外線ランプ(赤外線乾燥用電球)

- ・ILF/ILA-18/ILM-18 : 185W(口金サイズE26)
- ・ILC-25 : 250W(口金サイズE26)

製品によって、使用出来るランプが異なります。ご注意ください。

注意	禁止	ILF/ILA/ILM-18のランプ交換の際には、185W以下のランプを使用する。 それ以外のランプを使用しますと火災の原因になります。
注意	禁止	ILC-25のランプ交換の際には、250W以下のランプを使用する。 それ以外のランプを使用しますと火災の原因になります。

電源コードの長さを短くする場合《ILC-25のみ》

■ ILC-25は下記の方法で電源コードの長さを短くする事が出来ます。
長さを短くする場合は下記の手順に従ってください。

※ILF/ILA/ILM-18及びILC-25オプション取付品はコードの外皮部に加工を施している為、長さ調整が出来ないようになっております。

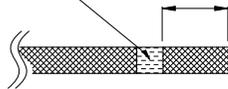
 注意	 注意	電源コードを短くする場合は角型引掛シーリングキャップ側で調節する。 それ以外のところでは調節しないでください。 火災・感電・落下・ケガの原因となります。
 注意	 禁止	本体側(ランプ側)では絶対にコードの調節や改造をしない。 耐熱性を考慮した特殊部品を使用しております。 火災・感電・落下・ケガの原因となります。

①角型引掛シーリングキャップ側の端子を止めているネジをはずし、必要な長さの電源コードを残しカットしてください。

(電源コードは角型引掛シーリングキャップ内の配線のために30mmほど余分に必要となります)ので、その分を考慮した長さを残してカットしてください。

②カットしたところから30mm以上のところに幅10mmから15mm程度のテープをキツ目に巻いてください。(外装のほつれ防止のため)

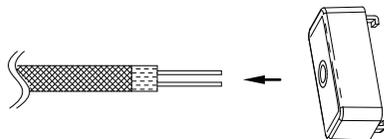
テープをキツ目に巻く 約30mm以上



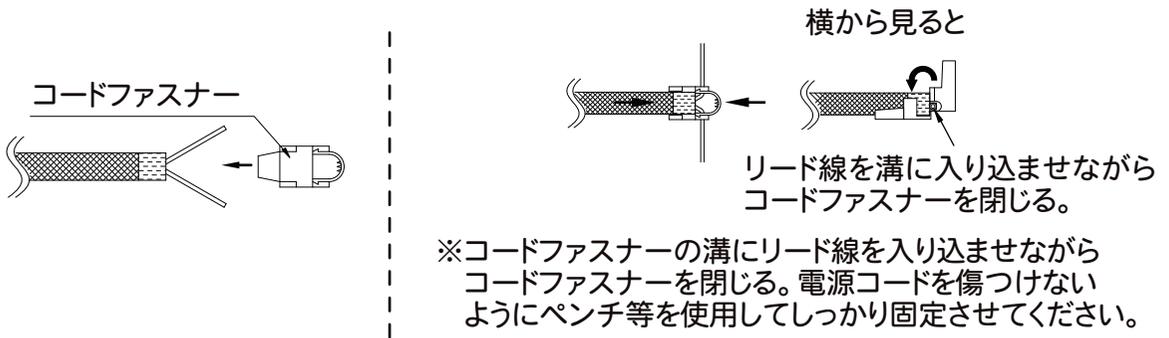
③テープより外側の電源コードの外装をほぐしてテープより外側のほぐした外装(黒と白のヒモ)をカットしてください。



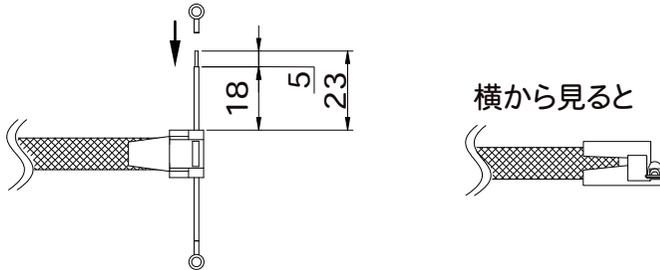
④角型引掛シーリングキャップを電源コードに通しておきます。



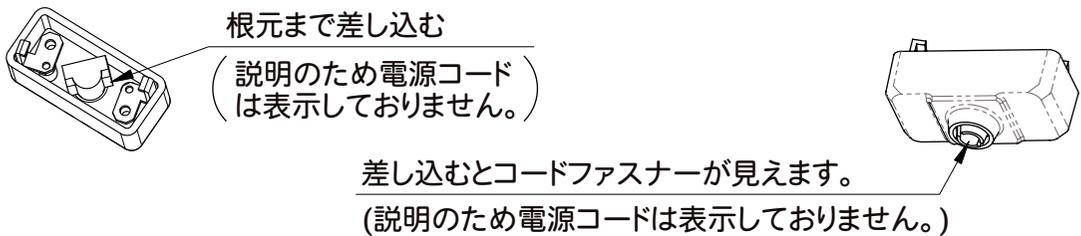
⑤ 付属のコードファスナーをコードに押し付けながら取り付けます。



⑥ リード線をコードファスナーから18mmのところまでカットし、リード線の被服を5mm剥きます。剥いたところに付属の丸型端子を裸端子用の圧着工具でしっかりとカシメてください。

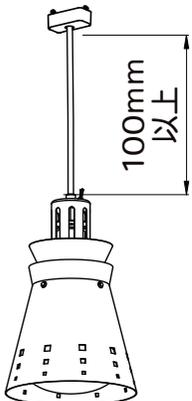


⑦ 先に差し込んでおいた角型引掛シーリングキャップを嵌めてください。コードファスナーを角型引掛シーリングキャップの内側根元までしっかりと差し込んでください。



⑧ 丸型端子をネジで固定してください。

⑨ 調節が終わりましたら、「取付方法」の通りに製品を取り付けてください。



⚠ 注意	⚠ 注意	コードファスナーは確実に取り付ける。コードファスナーは製品の重量を支えるためのものですので、必ず確実に取り付けてください。
⚠ 注意	⚠ 注意	電源コードの長さは100mm以上にする。それより短いと、火災、感電、落下の原因となります。

施工後の確認

■施工終了後、次の項目を確認してください。

★電源を入れる前に

①説明書、付属品について

取扱説明書、施工説明書は、お客様にお渡しください。
また、使用しなかった付属品もお客様にお渡しください。

②包装材について

製品の保護としての包装材は必ず取り外ししてください。
取り外さないで電源を入れると火災・感電・落下・ケガの原因となります。

③各部の確認

外観、電源コード、角型引掛シーリングキャップにキズ、変形、破損がないか確認してください。また、ワークトップから製品までの距離が300mm以上になっているか確認し、ランプ周囲に可燃物がないか確認してください。
ランプは非常に熱くなります。可燃物がありますと火災の原因となります。

④各部の接続

角型引掛シーリングキャップが確実に接続されているか確認してください。
接続が不確実な場合、点灯しなかったり、火災・感電・落下・ケガの原因となります。

⑤ランプの確認

赤外線ランプにゆらみがないか確認してください。
接続が不確実な場合、点灯しなかったり、火災・感電・落下・ケガの原因となります。

★電源を入れる

ランプの点灯確認

上記の確認が終了後、電源を入れ赤外線ランプが点灯することを確認してください。

 注意	 高温 注意	使用中、使用後しばらくはランプなど高温部に手を触れない。 やけどの原因となります。
--	--	--

※ご不明な点、詳細につきましては、販売店、タイジ(株)にご相談ください。

ウェブでのご連絡は下記へ

タイジ株式会社
お問い合わせ

<https://www.taiji.co.jp/support/>

弊社へ直接ご連絡の際は下記へ

タイジ株式会社
東日本営業所

〒210-0858
神奈川県川崎市川崎区大川町 8-2
TEL 044-329-5880 E-mail east_sales@taiji.co.jp

タイジ株式会社
西日本営業所

〒533-0021
大阪府大阪市東淀川区下新庄 5-26-21
TEL 06-6990-6853 E-mail west_sales@taiji.co.jp